

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2027年3月期第1四半期決算説明動画は
当社YouTubeチャンネルにて掲載しております。

動画URL : https://youtu.be/w_b1IJ4FSIM



1. 2027年3月期 第1四半期 決算報告

2. 2027年3月期 通期見通し



日本プラスト株式会社

1. 2027年3月期 第1四半期 決算報告

2. 2027年3月期 通期見通し



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期		2027年3月期 第1四半期		対前年同期比	
					増減	伸率
売上高	29,292	100.0%	29,658	100.0%	366	1.3 %
売上原価	26,383	90.1%	27,148	91.5%	765	2.9 %
売上総利益	2,908	9.9%	2,509	8.5%	△ 398	△ 13.7 %
販売費及び一般管理費	2,229	7.6%	2,423	8.2%	194	8.7 %
営業利益	679	2.3%	86	0.3%	△ 593	△ 87.3 %
経常利益又は経常損失（△）	451	1.5%	△ 14	△ 0.0%	△ 465	—
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	520	1.8%	△ 154	△ 0.5%	△ 675	—
1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失（△）	27.48円		△ 8.21円		—	—
1株当たり配当金	—		—		—	—

US \$ 換算レート	注1) 151.18円	注2) 156.47円	5.29円	—
-------------	-------------	-------------	-------	---

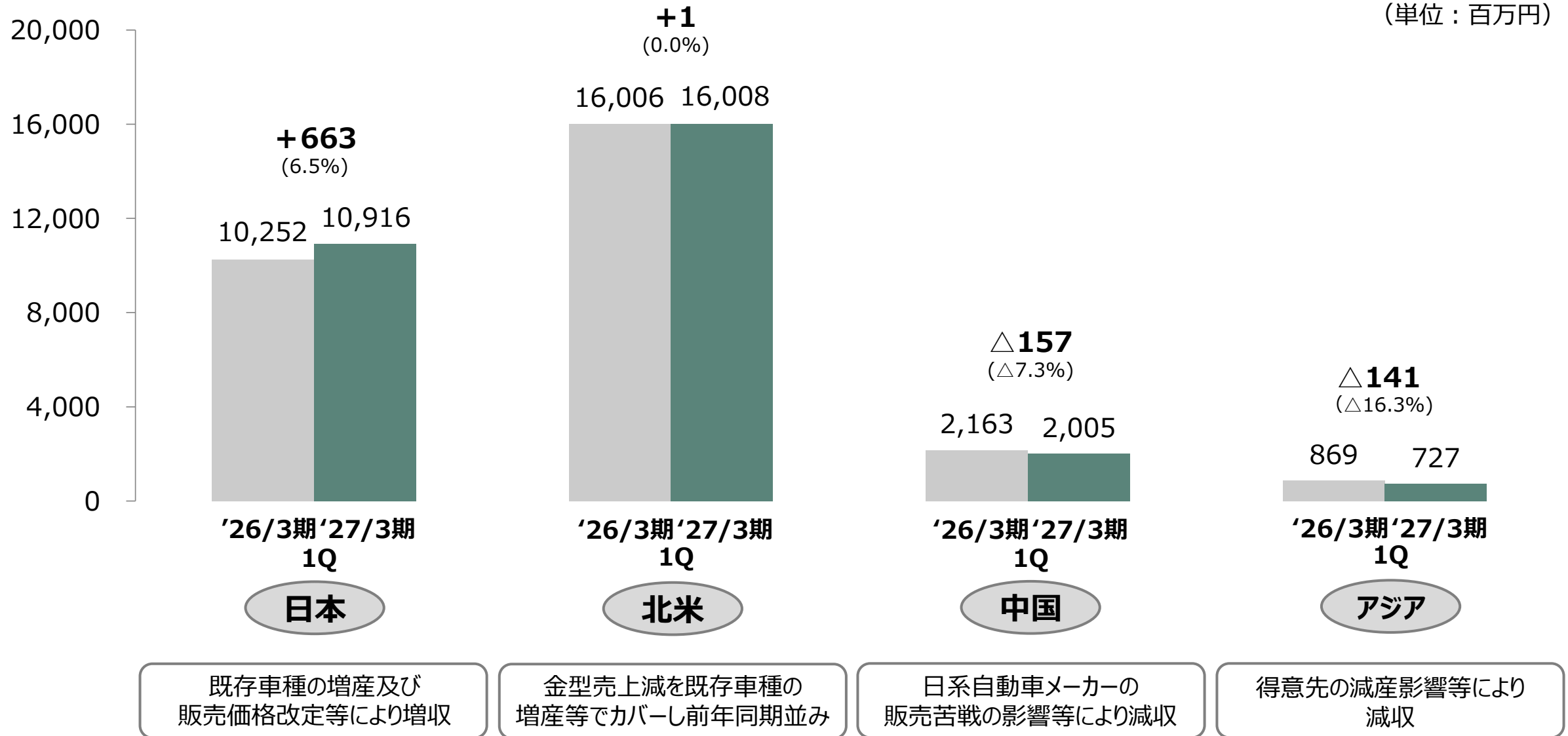
注1) 25年1～3月平均レート

注2) 26年1～3月平均レート

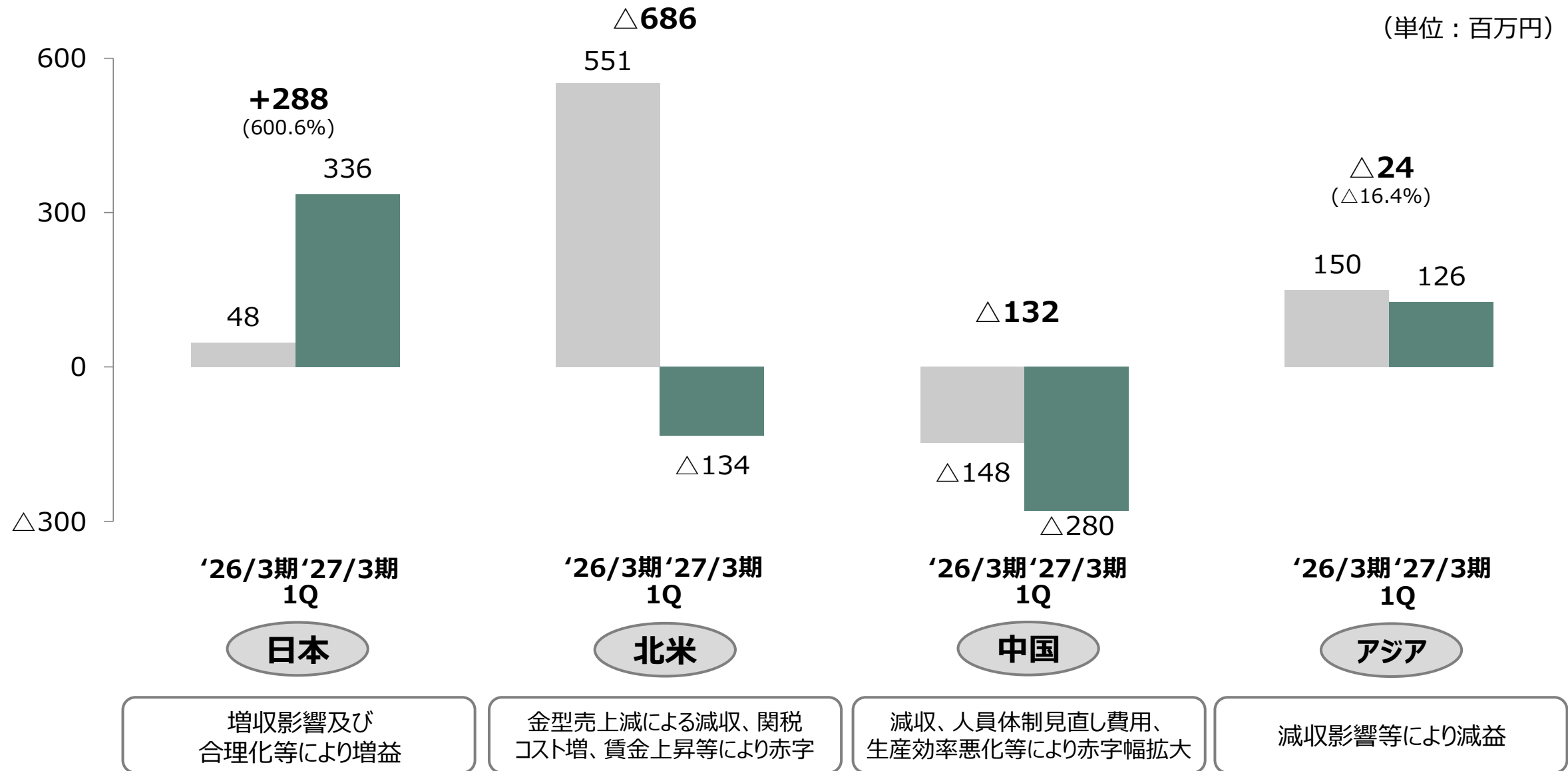
(2) セグメント情報 <地域別売上>



(単位：百万円)



(2) セグメント情報 <地域別営業利益>

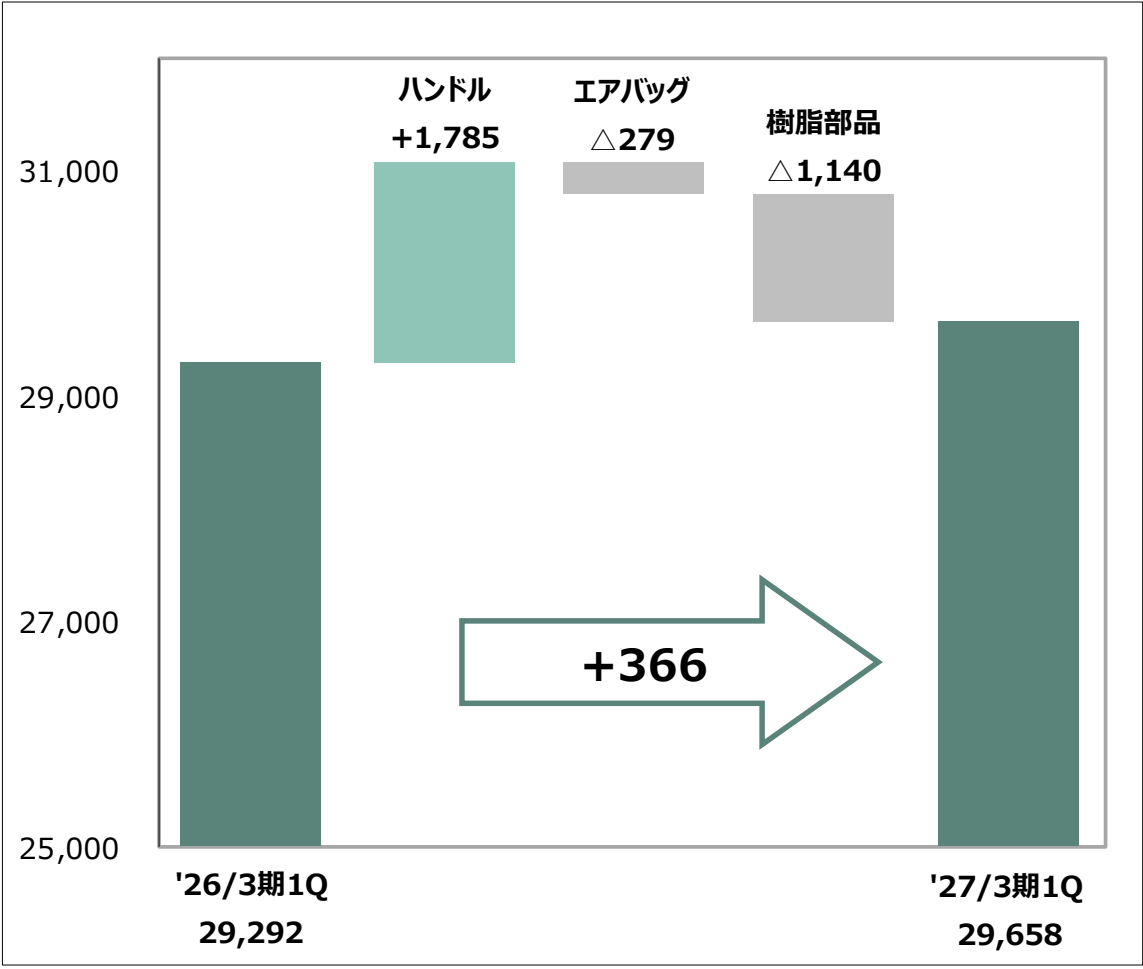


(3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'26／3期 1Q	'27／3期 1Q	対前年同期比	
			増減	伸率
ハンドル	7,640 (26.1 %)	9,425 (31.8 %)	1,785	23.4 %
エアバッグ	6,435 (22.0 %)	6,156 (20.8 %)	△ 279	△4.3 %
樹脂部品	15,217 (51.9 %)	14,077 (47.5 %)	△ 1,140	△7.5 %
連結売上高	29,292	29,658	366	1.3 %



ハンドル

エアバッグ

樹脂部品

既存車種の増産及びHODハンドルの増加等により増収

減産影響等により減収

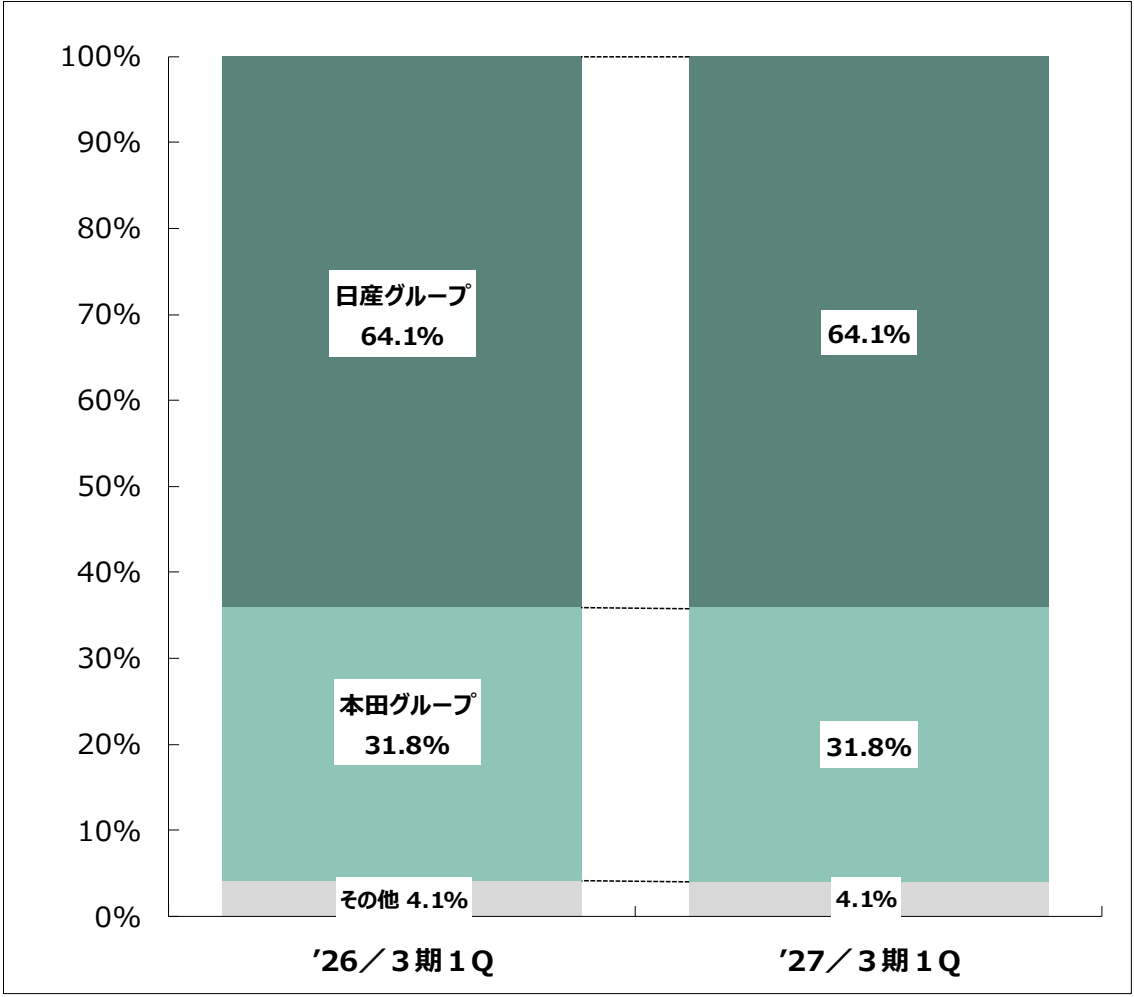
金型売上減少等により減収

(4) 得意先別売上



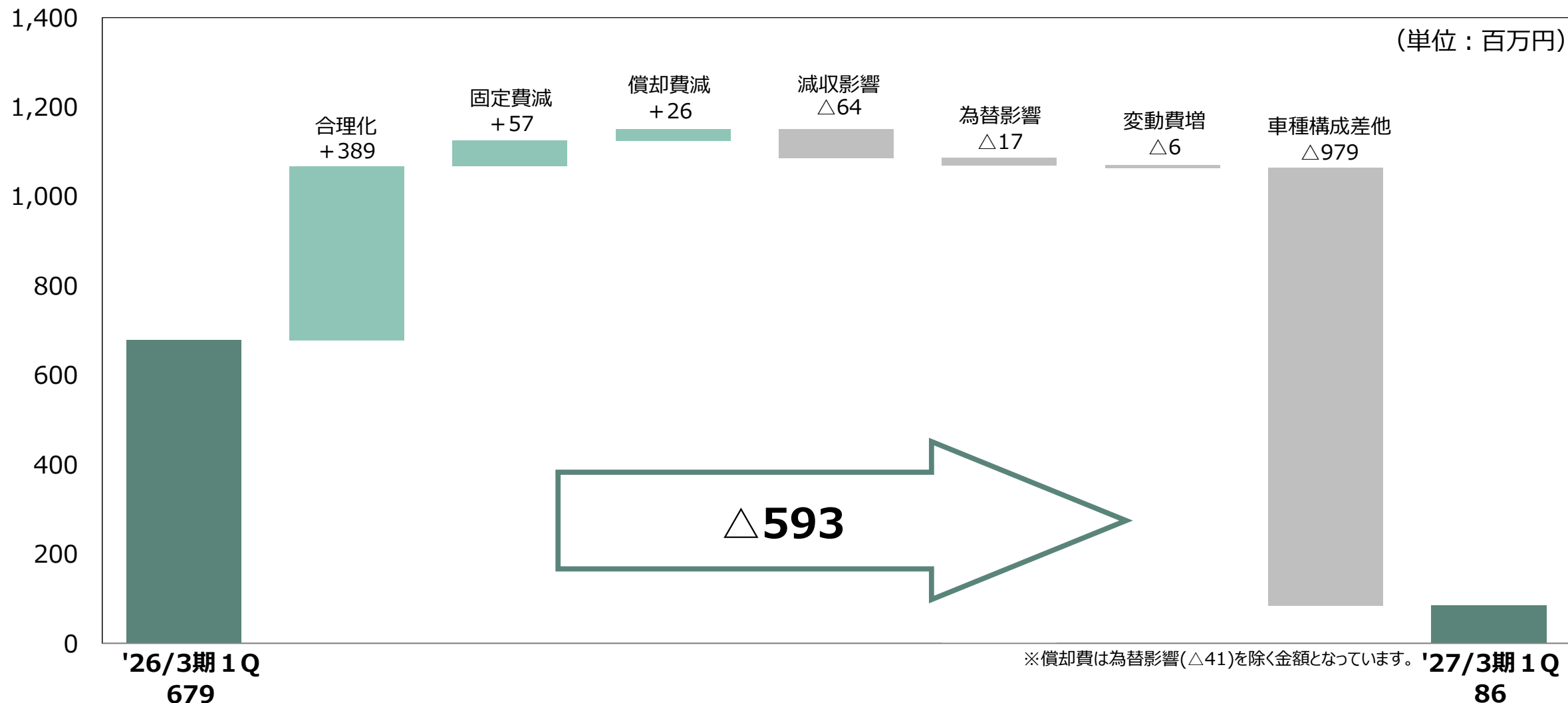
(単位：百万円)

	'26／3期 1Q	'27／3期 1Q	対前年同期比	
			増減	伸率
日産グループ	18,760 (64.1 %)	19,015 (64.1 %)	255	1.4 %
本田グループ	9,320 (31.8 %)	9,438 (31.8 %)	118	1.3 %
その他	1,212 (4.1 %)	1,205 (4.1 %)	△ 7	△0.6 %
連結売上高	29,292	29,658	366	1.3 %



日産 金型売上の減少をハンドルの増産及び為替影響等でカバー
本田 金型売上の減少を既存車種の増産及び為替影響等でカバー
その他 為替影響等による増収はあったものの、減産影響により微減

(5) 営業利益増減説明



車種構成差等の減益要因に対し、合理化等による収益改善を強力に推進するも、減益

(6) B/S主要増減



(単位：百万円)

	'26／3末	'26／6末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	50,254	50,314	60	・前払金 + 378 ・製品 △ 229
固定資産	35,196	35,404	208	・投資有価証券 + 299
資産合計	85,450	85,719	268	

	'26／3末	'26／6末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	37,945	38,564	618	・前受収益 + 2,665 ・未払費用 + 1,723 ・短期借入金 △ 1,092 ・支払手形及び買掛金 △ 1,046 ・賞与引当金 △ 1,031
固定負債	10,001	9,401	△ 599	・長期借入金 △ 648
純資産	37,503	37,753	249	・為替換算調整勘定 + 636 ・利益剰余金 △ 539
自己資本比率	43.9%	44.0%	0.1 %	
負債純資産合計	85,450	85,719	268	

1. 2027年3月期 第1四半期 決算報告

2. 2027年3月期 通期見通し



日本プラスト株式会社

(1) 概要



(単位：百万円)

	2026年3月期		2027年3月期		増減	伸率
売上高	114,861	100.0%	118,000	100.0%	3,138	2.7 %
営業利益	2,647	2.3%	2,400	2.0%	△247	△ 9.4 %
経常利益	2,499	2.2%	2,000	1.7%	△499	△ 20.0 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,012	1.8%	1,600	1.4%	△412	△ 20.5 %
1株当たり当期純利益	106.22円		84.75円		—	—
1株当たり配当金	30.00円		25.00円		—	—

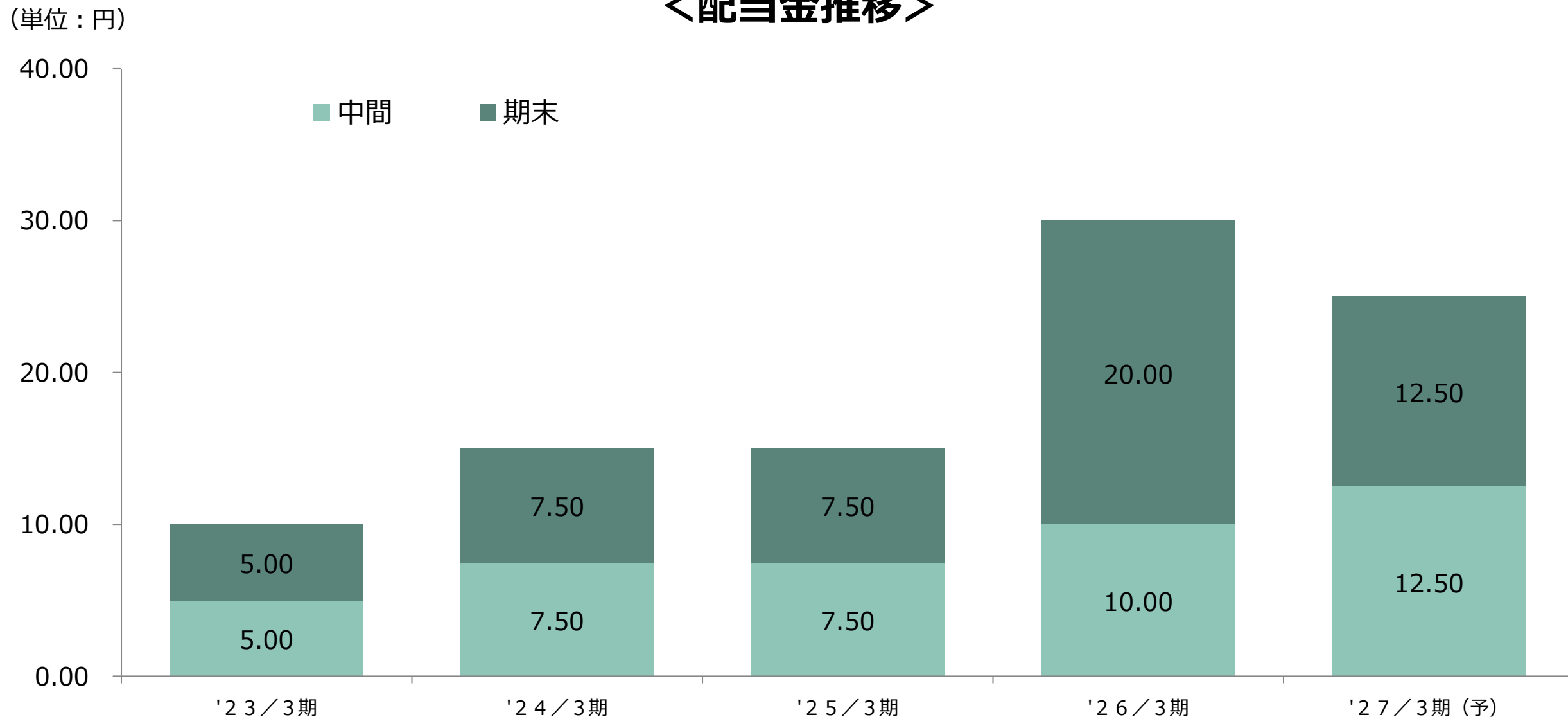
設備投資額	3,746	4,800	1,053	28.1 %
減価償却費	4,476	4,816	339	7.6 %

US \$ 換算レート	149.78円	155.00円	5.22	—
-------------	---------	---------	------	---

(2) 配当金



<配当金推移>



質問	回答
①一過性の要因の有無を教えてください	一過性要因につきましては、営業損益段階では特段発生しておりません。ただし、営業外収益におきまして、自転車用エアバッグ販売先の倒産に伴う債権回収に関連して、「償却債権取立益」約48百万円を計上しておりますが、こちらは一時的な収益であり、第2四半期以降に継続して発生するものではありません。
②関税コストの回収の進捗について	米国の関税措置に伴うコスト増加の回収（販売価格への転嫁）につきましては、第1四半期に大きな進展はございませんでした。引き続き前期の未合意分を含め、回収に向けた調整を進めてまいります。
③中東情勢の影響について	中東情勢の影響につきましては、現時点において、当社の生産活動に直接影響を与えるような事象は発生しておりません。一方で、原材料価格は高騰傾向にありますが、これによるコスト増加については販売価格転嫁に向け、得意先と誠実な協議・交渉を行ってまいります。
④公表を見送った中期経営計画の公表時期を教えてください	2027年3月期を初年度とする第7次中期経営計画につきましては、引き続き事業環境の見極めが必要な状況であり、公表時期につきましては「未定」とさせていただきます。ただし、社内における中長期戦略の検討を停止しているわけではございません。外部環境の動向を慎重に見極めつつ、信頼性の高い見通しをお示しできる環境が整い次第、速やかに公表してまいりたいと考えております。

質問	回答
⑤中国で赤字が続いているが、今後の戦略を教えてください	現時点では、現地体制を極限まで縮小（ミニマム化）する方針を堅持しています。既に実施した人員体制の見直しにより、収益改善の効果はでているものの、市場環境の悪化スピードが想定をはるかに上回っているため、今年度もさらなるミニマム化を加速させております。今後もあらゆる選択肢を排除せず、得意先との協議を継続しながら、損失を最小限に抑えるべく柔軟に判断してまいります。
⑥主要得意先のEV戦略の見直しについて	主要得意先のEV戦略見直しに伴う、新車開発計画の変更・中止は、当社の受注部品にも影響を及ぼします。現在、これまでに費やした開発費、設備投資費用等について、得意先への補償申請を行っております。今後は、新たに投入される車種の受注獲得を全力で推進していきます。引き続き、得意先との緊密な連携を通じ、誠実な協議・交渉を行うことで、事業への影響を最小限にとどめるよう努めてまいります。

ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/aihbT7JpsQZh5hcm6>
(受付期限：2026年9月18日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。

※アンケートにご回答いただいた方、**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。

アンケート入力画面：<https://forms.gle/R9H8wAcS7i7pH6WAA>
(回答期限：2026年9月18日)



本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。